

クラブ訪問

「感謝の気持ちを忘れずに」

遠山中学校バドミントン部

私たち遠山中学校バドミントン部は、1年生15人、2年生15人の計30人で、平日の朝・放課後と土・日曜日に体育館などで活動しています。

練習は、ランニングやストレッチなどのウォーミングアップから始め、その後ノックや半面コートでの打ち合いといった基礎練習を行います。バドミントンはコートが狭いため、ミスをしたり、読みが外れたりしないと決着がつかないスポーツです。そのため、ノックでは自分の思い通りに打てるようにコントロールを重視し、打ち合いでは相手を取りづらい場所や想定外の場所を狙うことを意識しています。顧問の森山先生からは「失敗を恐れずに挑戦して」と言われているので、練習でも積極的に攻めることを大切にしています。

部の方針は「周りへの感謝の気持ちを忘れない」こと。バドミントンは相手がいて初めてできるスポーツです。練習相手になってくれる部員や対戦相手はもちろん、家族や先生にも感謝を忘れないようにしています。応援してくれている人たちのためにも頑張ろうと思うことで、大会でもいつも以上の力を出せています。

今の目標は関東大会出場です。日々の練習の積み重ねがいつか目標に届くことを信じて、これからも頑張ります。



上原 美羽 部長(2年生)

新しいことに挑戦しようと思ひ、中学生からバドミントンを始めました。元気な部活にしていきたいです。



しっかり体を伸ばして



狙ったところへ打ち返す

なかまと一緒に

「味のある作品を目指して」

225

水墨画公掠会

私たち「水墨画公掠会」は、毎月第1・3土曜日に公津公民館で活動しています。

墨の黒と余白の白で表現される水墨画。名画といわれる作品を見ると、立体感や躍動感のほか、豊かな色彩までもが想像できます。私たちは、そのような作品を目指し、日々創作活動をしています。



みんなで切磋琢磨しています

水墨画は、描く人の気持ちに絵に正直に表れます。筆の運びを躊躇すると線に迷いが出てしまうので、うまく描こうとせずに感性のままに筆を動かすことが大切です。最初は難しく感じますが、何枚も描くうちに、墨が自然ににじんだり流れたりする様子が絵に味わいを出してくれることに気がきます。

慣れてくると、墨が垂れてしまった部分も「面白さの一つ」と、絵に生かすこともできるようになります。意外と趣のある模様ができることがあるので、わざと墨を落としたり水を流したりして描く方法もあるほどです。墨の動きを楽しみながら描けるようになると、水墨画の世界が広がります。それでも、まだまだ知らない手法が多く、活動中は仲間の作品を見てお互いに勉強し合っています。水墨画は本当に奥が深いと実感します。

多くの人に作品を見てもらうために、毎年、展示会を開催しています。11月の展示会では来場者に「味がある絵だね」と言われ、喜びが込み上げるとともに次の作品への意欲が湧いてきました。今後も傑作を目指して描き続けていきます。



豪快に筆を走らせる



趣のある作品の数々



ながたに ことみ くるみ
長谷 言実ちゃん(左)・来実ちゃん(右)

性格は全然ちがうけれど、どこに行くにも一緒に2人。これからもずっと仲良くね。



しのはら ちはや
篠原 千隼くん

3歳になりました。お外で虫を捕まえるのが大好きです。

スクスクのびのび

489

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコментарを郵送またはEメールで広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください) 広報課 ☎20-1503